

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	公共下水道(施設管理)		基本目標	公共下水道の整備と水洗化率の向上		
担当課(局)・係	上下水道課	下水道係	記入者	芥田 賢治	評価者	森 俊彦
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	町民										
	意図・目的	快適な生活環境の創造と水質保全を目的として、適切な汚水処理を行うための下水管と浄化センターの維持及び運転管理を行う。										
事業の内容	平成8年3月から供用を開始し、毎年下水道への接続世帯が増える中、平成18年度に処理系等の増設を行い、各家庭より排水される汚水の適正な処理を行うとともに、施設の維持管理を行っている。											
22年度決算額	41,468	千円	23年度予算額	44,313	千円	事業従事者数	H22 0.10	人	H23 0.10	人		
主な支出項目		千円	財源内訳	国庫支出金		千円	22年度人件費	720			千円	
		千円		県支出金		千円	23年度人件費	714			千円	
		千円		地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		0.2	%		
		41,468		千円	一般財源	109	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
				千円	使用料等	44,204	千円					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名									
	補助交付団体		補助金要綱									
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額		円	終期		年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
		補助の割合	#N/A	%								
繰越額		#N/A	円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 処理水量	毎日の流入量を測定し、管路の異常の有無を確認するとともに、水量の推移を計測することにより今後の維持管理・運転の参考とする。
	2 放流水質(BOD)	汚水の適正な処理が出来ているかを確認する中で、供用開始後に良好な水準で汚水処理されていることが確認できる。
活動指標	3 放流水質(SS)	汚水の適正な処理が出来ているかを確認する中で、供用開始後に良好な水準で汚水処理されていることが確認できる。
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 流入水質(BOD)	適正な汚泥処理を行うため、流入水質を測定し汚水処理の機械運転制御に反映させる。
	2 流入水質(SS)	適正な汚泥処理を行うため、流入水質を測定し汚水処理の機械運転制御に反映させる。
	3	

◎達成状況

指標名	単位	21年度			22年度			23年度		
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
成果指標	処理水量	目標値	t	713,520	677,020	678,920				
		実績値		647,554	642,463					
		達成率	%	90.8%	94.9%					
	放流水質(BOD)	目標値	mg/L	15.0以下	15.0以下	15.0以下				
		実績値		1.4	1.6					
		達成率	%	100.0%	100.0%					
放流水質(SS)	目標値	mg/L	10以下	10以下	10以下					
	実績値		1	1						
	達成率	%	100.0%	100.0%						
活動指標	流入水質(BOD)	目標値	mg/L	190	240	240				
		実績値		250	244					
		達成率	%	131.6%	101.7%					
	流入水質(SS)	目標値	mg/L	160	200	200				
		実績値		205	188					
		達成率	%	128.1%	94.0%					
0	目標値									
	実績値									
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!						

事務事業名	公共下水道(施設管理)	担当課(局)	上下水道課
-------	-------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
(有効性)	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	2	-
(効率性)	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
(協働性)	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		16	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性)	◎公益性が高いか		-
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	コスト			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	下水道の供用を開始している以上、管理は行わなければならない。担当の方針通りと考えます。			○	

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎長寿命化計画の委託業務完了後、管渠を含む施設整備について中長期計画を早急に作成し一般会計との調整を行うべきである。 ◎使用料を徴収している以上、適正な維持管理は行わなければならない。 ◎施設等の老朽化も考え、施設改善費としてストックも必要である。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	